

こみやま 泰子

3つの政策提言

1 暮らしを守る。

消費税増税凍結法案提出の実績。

消費税再増税の延期にあたり、700億円の税金が使われる総選挙の大義はありません。総理は臨時国会に野党共同提案した凍結法案に賛同せずに、2年後の経済状況に拘らない再増税を明言しました。暮らしを軽視する政治から大転換が必要です。



伝統文化の継承は地域の宝

26年度(第55回)定期総会
人 埼玉県障害者団体協議会



障害対策・障がい者政策を推進



老朽化インフラ対策
下水道改修の現場へ



2月豪雪視察
富士見市



国会審議で進めるべきもの見直すべきものを明確に

2

子どもの将来を守る。

再生可能エネルギー活用を加速。

食の安全を確保する農業の地産地消を進めます。子どもたちの将来に安全、健康を守ることは最重要課題です。東日本大震災から3年、福島第一原発事故対応に政府主導を強め促進するとともに、再生可能エネルギー活用を推進します。



収束とは程遠い
福島第一原発視察

3

格差是正。

派遣法改悪を許さず正規雇用推進。

世代間での格差固定が表面化する日本。正社員を希望しても生涯派遣労働のままとなりかねない派遣法の改悪は、断じて認められません。育児や介護などをしながら、多様な働き方が認められ、安心して働ける社会を目指します。



「同一労働同一賃金推進法案」
を共同提出



住みやすい日本をつくる。